

第40回理事会・第21回評議員会報告書

(財)おかやま環境ネットワーク

日時：2008年2月9日(土) 10:00~12:00

出席：理事会=17名(内委任6)、評議員会12名(内委任4)、監事2名

議長：理事会=野上、評議員=奥田 議事録署名人：理事会=由比濱、秋山、評議員会=北川、小橋

〔報告・承認事項〕

1. 2008年1月末決算報告、会費納入状況報告がありました。

2008年度1月末会費納入状況は、個人89・団体54・法人85・合計228会員です。昨年同期の会員数を20下回っています。個人・団体は昨年並みですが、企業会員の納付が昨年よりも21下回っています。1月までの決算状況は、法人会員の会費の納入が計画よりもおこなれているので、会費収入は予算比約40万円・前年比約42万円マイナスとなっています。事業収入も予算・前年ともに下回っています。参加費無料での企画の開講、参加費の高いエコファミリー講座・企業環境塾の参加者減などの影響です。事業費は、講師料などが不要の企画があったことなどもあり、予算・前年ともに下回っています。管理費も同様です。当期収支は63万円の黒字です。

2. 事業などの報告がありました。

環境講座「自然と暮らし」は、新規受講者は25名+昨年の受講者で、募集案内の変更で、欠席率は一定改善されました。ビデオ学習を含めほぼ全員レポートが提出されています。

企業環境塾は5社10名の参加です。講座は終了しました。2月の活動発表大会をもってすべての企画が終了します。参加者が減ってきていますので、企画の見直しが必要となっています。

環境家計簿PJの報告がありました。登録者数・データ提供者は過去最高を更新しました。新規申込みも例年以上に多く、また、団体などが会員に呼びかけて参加することが増えています。登録者を対象にアンケート活動を実施します。

県がすすめています「協働による環境学習推進事業」準備会の報告がありました。「環境学習協働推進広場」運営委員に、伊丹専務理事を推薦することが確認されました。また、環境学習推進プロジェクト会議の委員の推薦依頼があった場合は、青山理事長にお願いすることにしました。

県の公益法人改革説明会を受けて、報告がありました。法の施行を受けての対応については、規制が強くなるので、必ずしも早期に対応することがいいとは限らないという意見や税務との関係があるので様子を見ながら早い時期に対応が必要ではないかという意見がありました。ガイドラインの発表を受けて、小委員会で対応方針を検討することになりました。

2008年4月に役員の変更を行います。新しい役員候補の自薦・他薦を事務局に伝えることとなりました。

〔協議・決定事項〕

1. 2008年度助成事業について、助成検討審査会の検討結果が報告されました。18団体から252万円の申請がありましたが、15団体に150万円助成することなどが報告され、了承されました。また、5月31日に2007年度の助成活動報告会を開催することが確認されました。

2. 2007年度の事業報告・決算見直し、2008年度の事業計画・予算が提案され、確認されました。衣笠基金については、ホタルフォーラムの成果のまとめに使用するとともに、「会報」の充実にあたる計画です。

3. アースディ企画については、直近になって受け入れ先から対応が困難との連絡がありました。早急に新しい企画案を検討し、メール等で意見を集中し、4月理事会で事後承認を受けることになりました。

次回理事会・評議員会 4月12日(土)10時~12時、オルガ5F会議室スカーレット